

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 5 月 6 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02375

研究課題名(和文) 中世フランス語版キケロ『修辞学』の言語地理学的・文献学的語彙研究

研究課題名(英文) Philological and Dialectological Studies on the Vocabulary of Rectorique de Marc Tullies Cycleron

研究代表者

松村 剛 (MATSUMURA, Takeshi)

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：00229535

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究においては、1282年にアッコンで Jean d'Antioche によってラテン語から翻案された中世フランス語版キケロ『修辞学』(Rectorique de Marc Tullies Cycleron) の語彙を、シャンティイのコンデ博物館 (musee Conde) に所蔵されている第433番写本と、Elisa Guadagnini によって2009年にイタリアで刊行された近代版とを比較しながら検討した。刊本と各種辞書の記述の誤りを修正しつつ、このテキストがフランス語史と言語地理学にとって興味深い多くの単語を含んでいることだけでなく、聖地に特有の語彙をもつことを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：With this grant-in-aid for scientific research, I studied the vocabulary of the old french "Rectorique de Marc Tullies Cycleron" (adaptation of Cicero's "De Inventione" and pseudo-Cicero's "Rhetorica ad Herennium") composed in 1282 by Jean d'Antioche in Acre and published by Elisa Guadagnini (La Rectorique de Cycleron tradotta da Jean d'Antioche. Edizione e glossario, Pisa, Edizioni della Normale, 2009). I compared the publication with the manuscript 433 of the Musee Conde of Chantilly, France and observed that the modern edition and dictionaries have diverse shortcomings. At the same time, I certified that this text contains numeros words of great interest for the history of the french language and the geographical linguistics and various words characteristic of the Holy Land.

研究分野：人文学

キーワード：中世フランス語 フランス語史 語彙論 文献学 言語地理学

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究は、平成 24・25・26 年度科学研究費補助金基盤研究 (C)(一般)「中世フランス語版ポエティウス『哲学の慰め』の言語地理学的・文献学的語彙研究」(課題番号 24520337)において松村が挙げた成果を継承しつつ、Jean d'Antioche によって 1282 年にアッコで中世フランス語に翻案されたキケロ『修辞学』を対象にして研究を推進しようとするものとして開始された。それまでの 3 年間の研究は、ブルゴーニュ版のポエティウス『哲学の慰め』をとりあげ、1996-1997 年に刊行された不完全な校訂版をオーストリア国立図書館所蔵の第 2642 番写本との照合によって訂正しつつ、この作品の語彙を歴史的かつ地理的な観点から網羅的に検討し、フランス語の歴史と地理においていかに重要な用例がそこに含まれているかを浮き彫りにすることができた。その巻、学術誌に論考を発表し、フランス語のテキストならびにフランス語史関連の研究書、辞書に関する文献学的な批判的読解の作業も進めてきた。

(2) 本研究で対象とするジャン・ダンティオッシュ (Jean d'Antioche) による中世フランス語版キケロ『修辞学』は、ラテン語によるキケロ『発想論』(*De Inventione*) と偽キケロ『ヘレンニウス宛修辞学』(*Rhetorica ad Herennium*) 聖地のアッコで 1282 年に作られた翻案であり、*Rectorique de Marc Tullus Cicero* と呼ばれている。修辞学に関する中世フランス語の文献はほかにも存在するが、この作品は『発想論』と『ヘレンニウス宛修辞学』の全体を最初に翻案したものであり、シャンティイのコンデ博物館に所蔵されている写本(第 433 番写本)のみによって伝えられている。中世フランス語版キケロ『修辞学』の研究はあまり進んでおらず、近年ようやく脚光を浴びつつあるのが現状である。この作品の存在自体はすでに 1899 年に Léopold Delisle が « Notice sur la *Rhétorique de Cicéron* traduite par Maître Jean d'Antioche, ms. 590 [actuel 433] du Musée Condé » という論文を *Notices et extraits des manuscrits de la Bibliothèque Nationale et autres bibliothèques*, t. 35, p. 207-265 に発表したことで知られるようにはなっていたが、Delisle は作品の抜粋を引いているのみで、全容は知られないままであった。

(3) 中世フランス語版キケロ『修辞学』の全容が校訂版として明らかになったのはその 110 年後にあたる 2009 年のことであった。それは Elisa Guadagnini が 2004 年にフィレンツェ大学に提出した博士論文をもとに、*La Rectorique de Cicero tradotta da Jean d'Antioche. Edizione e glossario*, Pisa, Edizioni della Normale として上梓した校訂版である。この校訂版は序文において簡略な言語的特徴を列挙し、巻末に語彙解説をつけていると

はいえ、それらは機械的な処理にとどまっており、作品に含まれる語彙がフランス語の歴史と地理においていかなる意義をもつかという問題を意識すらしていない。本文の校訂自体もかならずしも信頼がおけるものにはなっていない。

(4) その後、この作品に関しては文化史的な観点から Frédéric Duval が *Dire Rome en français. Dictionnaire onomasiologique des institutions*, Genève, Droz, 2012 の中でふれているが、古代ローマの制度との関連という視点に限られた論考であるため、『修辞学』全体の研究にはなっていない。また、Laura Minervini による聖地のフランス語研究(« Le français dans l'Orient latin (XIII^e-XIV^e siècles). Éléments pour la caractérisation d'une *scripta* du Levant », *Revue de Linguistique romane*, t. 74, 2010, p. 119-198 ; « Les emprunts arabes et grecs dans le lexique français d'Orient (XIII^e-XIV^e siècles) », *ibid.*, t. 76, 2012, p. 99-197)でもこのテキスト全体の語彙論的な意義は明らかにされていない。

(5) そのため、文献学的手法に基づいて、フランス語史と言語地理学の観点から注目すべきこの作品の総合的な語彙研究を行う必要性は大きいものであった。

2. 研究の目的

(1) 上記の通り、従来の研究に欠落していた要素を補完すべく、Jean d'Antioche による中世フランス語版キケロ『修辞学』(*Rectorique de Marc Tullus Cicero*) の Elisa Guadagnini による校訂版とその底本であるシャンティイのコンデ博物館写本第 433 番とを照合し、校訂版の不十分な箇所を修正しつつ、現在の文献学的な要請に応じた正確な校訂版を作成する作業を行う。

(2) その過程で、テキストに含まれた語彙の網羅的な研究を推進する。その際、言語地図と各種辞書を批判的に活用しつつ、用例の言語地理学的・歴史的意義を明らかにする。F. Godefroy の 10 巻本『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の 12 巻本『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg が創始した 25 巻本『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) における中世フランス語版キケロ『修辞学』および関連作品の引用を検討し、間違いがあれば訂正しつつ、Jean d'Antioche の作品が含む単語の初出に着目しながら、従来のフランス語史の記述を補完する要素を明示することを系統的な語彙集成の作成を通して行う。

(3) ラテン語からフランス語に翻案される過程でどのような語彙が使われたのかを網

羅的に調査することによって、従来は中世末期の現象として知られていた翻訳文学の流行が、実はより古い時代にすでに起こっていたことが明らかになり、それに応じて貴重な用例を発見することができるであろうし、地理的な観点からも、アッコンを含む聖地に特有の語彙の発見を通して、中世フランス語研究の中で手薄なこの地域の語彙研究の補完に貢献できるであろう。

(4) これらの検討を通して、現在刊行されつつある『古フランス語語源辞典』(*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*) (ハイデルベルク大学)に多くの寄与をすることができるであろうし、部分的に改訂版を作成しつつある『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) (フランス国立国語研究所)の補足・修正にも役立つであろうし、『フランス語宝典』語源項目の再検討をしている TLF-Etym および「幽霊語研究」Base des Mots-Fantômes (同じくフランス国立国語研究所)にも多数の貢献をすることができるであろう。

3. 研究の方法

(1) 上記の研究目的を達成すべく、Jean d'Antioche による中世フランス語版キケロ『修辞学』(*Rectorique de Marc Tullus Cicero*)のテキストに関して、シャンティイのコンデ博物館に所蔵されている写本第 433 番と、Elisa Guadagnini による校訂版 (*La Rectorique de Cicero tradotta da Jean d'Antioche. Edizione e glossario*, Pisa, Edizioni della Normale, 2009) とを比較検討し、正確なテキストを確定する。

(2) 各種辞書における中世フランス語版キケロ『修辞学』の引用を再検討し、それらの解釈の妥当性を文献学的に調査し、間違いがあれば訂正してゆく。とくに、F. Godefroy の 10 巻本『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の 12 巻本『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg が創始した 25 巻本『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) の引用および解釈を批判的に検討し、そこに見られる誤りの影響がどのように語彙研究、フランス語史研究に現れているかを文献学的に調査する。

(3) 中世フランス語版キケロ『修辞学』に含まれる、歴史的・地理的に注目すべき単語・表現を収集し、この作品の意義を裏付ける点を強調し、フランス語史ならびに言語地理学における従来の知見を補完してゆく。

(4) 地方語の問題に関して、言語地理学の成果を活用すべく、研究書・論文を調査する。その研究によって、中世フランス語版『修辞

学』の作者 Jean d'Antioche が使用している聖地特有の語彙の特徴を浮き彫りにする。

(5) 関連するフランス語作品を収集し、それらを批判的に検討し、補足的な情報を収集する。

4. 研究成果

(1) Jean d'Antioche による中世フランス語版キケロ『修辞学』(*Rectorique de Marc Tullus Cicero*)のテキストに関して、Elisa Guadagnini による校訂版 (*La Rectorique de Cicero tradotta da Jean d'Antioche. Edizione e glossario*, Pisa, Edizioni della Normale, 2009) は、底本であるシャンティイのコンデ博物館所蔵第 433 番写本と比較した結果、正確にテキストを理解していない、十分に語彙の意義を強調していないと思われる箇所が見つかった。

(2) 中世フランス語版キケロ『修辞学』の語彙を歴史的・地理的に興味深い単語・表現という観点から研究し、従来の知見を刷新するような結果を出すことができた。その成果は単著 *Dictionnaire du français médiéval* (Paris, Les Belles Lettres, 2015) および論文 « *La Rectorique de Cicero tradotta da Jean d'Antioche : quelques remarques lexicographiques* », *FRACAS*, 55, 2017 で発表した。

(3) このように、フランス語史ならびに言語地理学の観点から、従来の知見を補完する情報を収集できたことで、松村が校閲者として参加しているハイデルベルク大学の『古フランス語語源辞典』(*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*)、ナンシーのフランス国立国語研究所の「『フランス語宝典』語源項目の再検討」(TLF-Etym) および「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes) にとって有益な用例を多数見つけることができ、今後のフランス語史研究の発展に意義ある成果と言える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 54 件)

(1) 松村剛 « *En relisant Les Faits des Romains : quelques remarques lexicographiques* », dans *FRACAS*, 69, 2018, p. 1-15. 査読有

(2) 松村剛 « *Sur une locution abandonnée par La Fontaine : fait à fait que* », dans *Le Fablier*, 28, 2017, p. 141-145. 査読有

(3) 松村剛 « *Sur les lettres de Beaumarchais à*

Madame de Godeville : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 68, 2017, p. 1-16. 査読有

(4) 松村剛 « Sur le conducteur macérien des *Mémoires de Sanson* de Balzac ou de L'Héritier de l'Ain : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 67, 2017, p. 1-20. 査読有

(5) 松村剛 « *Fulgur* de Robert Brasillach et de ses amis : remarques lexicographiques », dans *Bulletin de l'Association des Amis de Robert Brasillach*, 141, 2017, p. 36-39. 査読有

(6) 松村剛 « Sur une source de la *Physiologie du mariage* : Balzac et Lemontey », dans *FRACAS*, 66, 2017, p. 1-12. 査読有

(7) 松村剛 « Sur des mots régionaux dans *Le Spectacle intérieur* de Jean Pommier », dans *FRACAS*, 65, 2017, p. 1-5. 査読有

(8) 松村剛 « Gastronomie drolatique : le cas de la *Belle Impéria* », dans *FRACAS*, 63, 2017, p. 1-34. 査読有

(9) 松村剛 « Sur le mot *apostrophe* chez Balzac et Béroalde de Verville », dans *FRACAS*, 62, 2017, p. 1-14. 査読有

(10) 松村剛 « Remarques lexicographiques sur un passage du *Curé d'Azay-le-Rideau* », dans *FRACAS*, 61, 2017, p. 1-7. 査読有

(11) 松村剛 « La correspondance des Balzac revisitée : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 60, 2017, p. 1-11. 査読有

(12) 松村剛 « Sur l'accord du participe passé chez Racine et Molière : grammaire et versification », dans *FRACAS*, 58, 2017, p. 1-10. 査読有

(13) 松村剛 « *La Suite du menteur* de Corneille : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 57, 2017, p. 1-10. 査読有

(14) 松村剛 « Sur le mot *ministre* dans *La Thébaïde* de Racine », dans *FRACAS*, 56, 2017, p. 1-11. 査読有

(15) 松村剛 « *La Rectorique de Cicéron* traduite par Jean d'Antioche : quelques remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 55, 2017, p. 1-10. 査読有

(16) 松村剛 « Note d'information : à propos d'un nouveau dictionnaire du français médiéval », dans *Académie des Inscriptions et Belles-Lettres. Comptes rendus des séances de l'année 2016*

janvier-mars, 2016, p. 499-503. 査読有

(17) 松村剛 « Des mots normands dans *Force ennemie* de John-Antoine Nau », dans *FRACAS*, 53, 2017, p. 1-10. 査読有

(18) 松村剛 « Sur un prétendu contresens de Verlaine : *je suis ton valet* », dans *FRACAS*, 53, 2017, p. 1-11. 査読有

(19) 松村剛 « Scarron, *Abrégé de comédie ridicule de Matamore* : remarques philologiques sur ses trois éditions récentes », dans *FRACAS*, 52, 2017, p. 1-17. 査読有

(20) 松村剛 « Robert Brasillach et Philippe Soupault dans *Fulgur* », dans *FRACAS*, 51, 2017, p. 1-15. 査読有

(21) 松村剛 « Sur des mots régionaux dans les *Souvenirs* de Maurice Bardèche », dans *FRACAS*, 49, 2016, p. 1-3. 査読有

(22) 松村剛 « *Girart de Roussillon* dans *Le Crime de Sylvestre Bonnard* », dans *FRACAS*, 48, 2016, p. 1-5. 査読有

(23) 松村剛 « Remarques lexicographiques sur le mot *mazarinade* », dans *Histoire et civilisation du livre*, 12, 2016, p. 163-168. 査読有

(24) 松村剛 « Remarques lexicographiques sur deux poèmes dialogués de Verlaine : *Berceuse* et *Sur l'herbe* », dans *FRACAS*, 46, 2016, p. 1-11. 査読有

(25) 松村剛 « Sur les *Œuvres complètes* de Rimbaud dans la Pléiade, 2015. Des retouches superficielles ou une immense révision ? » dans *FRACAS*, 46, 2016, p. 1-46. 査読有

(26) 松村剛 « Sur un mot de Pascal : *inrésistance* ou *irrésistance* », dans *FRACAS*, 45, 2016, p. 1-4. 査読有

(27) 松村剛 « Sur le mot *exacteté* chez Arnauld, Pascal et Vaugelas », dans *FRACAS*, 44, 2016, p. 1-5. 査読有

(28) 松村剛 « La correspondance de Pierre Louÿs et d'Henri de Régnier : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 43, 2016, p. 1-9. 査読有

(29) 松村剛 « Sur deux lettres d'Apollinaire à Lou : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 42, 2016, p. 1-9. 査読有

(30) 松村剛 « Sur quelques mots des premiers écrits d'Henri Michaux », dans *Philologica*

Jassyensia, 12, 2016, p. 69-75. 査読有

(31) 松村剛 « Sur quelques mots de Raymond Queneau dans ses lettres adressées à son fils », dans *FRACAS*, 41, 2016, p.1-10. 査読有

(32) 松村剛 « *Le Neveu de Rameau* édité par Pierre Chartier : quelques remarques philologiques », dans *FRACAS*, 40, 2016, p. 1-8. 査読有

(33) 松村剛 « Hansi, *Souvenirs d'un annexé récalcitrant* : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 39, 2016, p. 1-5. 査読有

(34) 松村剛 « La correspondance de Paul Valéry et d'André Lebey : remarques philologiques et lexicographiques », dans *FRACAS*, 37, 2016, p. 1-10. 査読有

(35) 松村剛 « Antoine Furetière, *L'Aenéide travestie* : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 36, 2016, p. 1-9. 査読有

(36) 松村剛 « La correspondance de Mallarmé est-il une véritable mine pour les lexicographes ? », dans *Études Stéphane Mallarmé*, 3, 2016, p. 131-134. 査読有

(37) 松村剛 « *Observations sur les fossés d'aisance* : remarques lexicographiques », dans *FRACAS*, 35, 2016, p. 1-7. 査読有

(38) 松村剛 « Sur l'édition *Donc c'est non* d'Henri Michaux publiée par Jean-Luc Outers », dans *FRACAS*, 34, 2016, p. 1-5. 査読有

(39) 松村剛 « Sur quelques régionalismes de Paul Bourget dans *Le Disciple* édité par Antoine Compagnon », dans *FRACAS*, 33, 2016, p. 1-6. 査読有

(40) 松村剛 « Regard sur la lexicographie du français médiéval (quatrième et dernier article). Pour sortir des sentiers battus », dans *FRACAS*, 32, 2016, p. 18-36. 査読有

(41) 松村剛 « Regard sur la lexicographie du français médiéval (troisième article). En cherchant des attestations charnières », dans *FRACAS*, 31, 2016, p. 16-34. 査読有

(42) 松村剛 « Regard sur la lexicographie du français médiéval (deuxième article). Sur le caractère régional du vocabulaire », dans *FRACAS*, 30, 2016, p. 12-30. 査読有

(43) 松村剛 « Regard sur la lexicographie du français médiéval (premier article). Comment lire les dictionnaires du français médiéval ? », dans

FRACAS, 29, 2016, p. 15-35. 査読有

(44) 松村剛 « *Les Œuvres complètes* de Marcel Schwob en japonais : une édition problématique », dans *Spicilege. Cahiers Marcel Schwob*, 8, 2015, 査読有

(45) 松村剛 « Sur le mot *aliadophile* chez Valéry Larbaud », dans *FRACAS*, 26, 2015, p. 1-3. 査読有

(46) 松村剛 « Sur quelques mots de Marivaux », dans *FRACAS*, 25, 2015, p. 1-8. 査読有

(47) 松村剛 « Sur quelques énigmes des *Œuvres complètes* de Marcel Schwob en japonais », dans *FRACAS*, 24, 2015, p. 1-9. 査読有

(48) 松村剛 « Sur le waiter et le sommelier dans *l'Histoire de ma vie* de Casanova », dans *FRACAS*, 23, 2015, p. 1-6. 査読有

(49) 松村剛 « Sur certaines bévues glissées dans le tome II de la nouvelle traduction japonaise des *Pensées* de Pascal », dans *FRACAS*, 22, 2015, p. 1-14. 査読有

(49) 松村剛 « Où est passé le *dépositaire du vray* ? À propos d'une traduction japonaise des *Pensées* de Pascal », dans *FRACAS*, 21, 2015, p. 1-16. 査読有

(50) 松村剛 « Sur une certaine pratique philologique pascalienne : de Philippe Sellier à Tetsuya Shiokawa », dans *FRACAS*, 20, 2015, p. 1-17. 査読有

(51) 松村剛 « Remarques sur la nouvelle traduction japonaise des *Pensées* de Pascal », dans *FRACAS*, 19, 2015, p. 1-4. 査読有

(52) 松村剛 « Pour étudier le vocabulaire de Barbey d'Aureville avec Hedwig Pinthus », dans *FRACAS*, 18, 2015, p. 1-17. 査読有

(53) 松村剛 « Remarques lexicographiques sur les contes de Giono parus dans *l'Almanach des champs* », dans *Nouveaux Cahiers Henri Pourrat*, 1, 2015, p. 177-186. 査読有

(54) 松村剛 « Sur quatre *néologismes* de Galiani », dans *FRACAS*, 17, 2015, p. 1-13. 査読有

[学会発表](計2件)

(1) 松村剛 « Sur quelques dérivés du nom *Mazarin* », *L'Exploration des mazarinades*, 2016.

(2) 松村剛 « Les mazarinades sont-elles une véritable mine pour les lexicographes ? », *Mazarinades : nouvelles approches*, 2015.

〔図書〕(計2件)

(1) 松村剛ほか *Mélanges autour de Jacques le Fataliste de Diderot*, Paris, L'Harmattan, 2017, 230 pages.

(2) 松村剛 *Dictionnaire du français médiéval*, Paris, Les Belles Lettres, 2015, 3510 pages.

〔その他〕

(1) ハイデルベルク大学 『古フランス語語源辞典』 (*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*) 校閲 (<http://www.deaf-page.de/index.php>)

(2) フランス国立国語研究所(ナンシー)『フランス語宝典』語源項目の再検討」(TLF-Etym) 校閲 (<http://www.atilf.fr/tlf-etym/>)

(3) フランス国立国語研究所(ナンシー)「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes) 校閲 (<http://www.atilf.fr/MotsFantomes/>)

6. 研究組織

(1)研究代表者

松村 剛 (MATSUMURA, Takeshi)

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：00229535